

建設設計製図 2

Civil Engineering Design and Exercise 2

1 単位 (選択)

渡辺 公次郎・助教 / 建設工学科 社会基盤工学講座

【授業目的】 水理部門と計画部門を対象に、実践的な土木技術者として必要不可欠な設計製図の知識・技能・応用力を各分野の専門的な内容も含めて習得する。

【授業概要】 水理部門では、河川不等流の標準逐次計算法により、河川堤防高さを決定する際の基本となる計画高水位を算定する。計画部門では、小規模住宅の建築設計製図を行う。また、両部門とも、設計書の作成方法についても指導する。

【キーワード】 河川計画, 建築設計

【先行科目】 『基礎の流れ学』 (1.0)

【関連科目】 『建設設計製図 1』 (0.5)

【履修要件】 水理部門:基礎の流れ学の単位を取得済みであることを受講要件とする。

【履修上の注意】 第 1 週目のガイダンスに必ず出席すること。出席できないものは、事前に連絡すること。

【到達目標】

1. (水理部門) : 標準逐次計算法による河川計画高水位の設計計算を完行できるとともに、体裁、内容ともに実務レベルの報告書にまとめることができる。
2. (計画部門) : 小規模住宅の建築設計を行い、図面として表現できる

【授業計画】

1. ガイダンス・課題選択
2. 課題解説 (1)
3. 課題解説 (2)
4. 設計実習 (1)
5. 設計実習 (2)
6. 設計実習 (3)
7. 設計実習 (4)
8. 設計実習 (5)
9. 中間検査 (1)
10. 設計実習 (6)
11. 設計実習 (7)
12. 中間検査 (2)
13. 設計書作成指導 (1)
14. 設計書作成実習 (1)

15. 設計書作成実習 (2)

16. 最終検査

【成績評価基準】 提出された設計書に基づき、設計計算の正確さや報告書記述能力を評価し、総合評価として 60%以上を合格とする。

【教科書】 原則として、各課題ごとに資料が配付される。

【WEB 頁】 <http://www.ce.tokushima-u.ac.jp/lectures/N0019>

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215838>

【対象学生】 開講コース学生のみ履修可能

【連絡先】

⇒ 渡辺 (kojiro@ce.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 年度ごとに学科の掲示を参照すること)

【備考】 授業を受ける際には、2 時間の授業時間毎に 1 時間の予習・復習をしたうえで授業を受けることが、授業の理解と単位取得のために必要である。